

2020年度第2回公立大学法人公立諏訪東京理科大学経営審議会議事録

日 時 2020年7月17日(金) 13:30～14:30

場 所 遠隔会議(Zoom使用)

出席者 唐澤議長、小越委員、松江委員、小林委員、小平委員、今井委員、岩崎委員、武田委員、
渡邊委員、牛山委員、(濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、長田総務課係長)

欠席者 細田委員

[配布資料]

1. 2019年度決算報告書(資料1)
2. 監査報告書(資料2)
3. 2019年度決算関係の資料について(資料3)
4. 2019年度事業報告書(資料4)
5. 外部資金研究に係る研究開発活動について 2019年度版(資料5)

[議 事]

議事に先立ち、唐澤議長から今年度初参加となる今井委員、岩崎委員の紹介があった。また、牛山委員より本学での新型コロナウイルス感染症対策の対応状況及び現在の様子について報告があった。

1. 2019年度決算報告書及び財務諸表、監査報告書について

濱財務課長から資料1から3をもとに、2019年度の決算・財務状況について、決算報告書、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等各帳票にもとづきながら説明があった。また、法人監事による監査報告書により本法人の業務監査結果について適正である旨の報告があった。

2. 2019年度事業報告書について

唐澤議長から資料4をもとに、前回本会議で審議いただいた業務実績報告書に財務諸表の要約を加えて2019年度事業報告書としてまとめたこと、先に報告した財務諸表等と併せて理事会に諮ったうえで諏訪広域公立大学事務組合に報告し、現在内容を確認いただいているとの説明があった。

3. 2019年度外部資金獲得研究について

唐澤議長から資料5をもとに、2019年度の受託研究等に係る外部資金獲得研究の状況について報告があり、件数、獲得金額ともに諏訪圏を中心として増加傾向にあること、また、諏訪圏においては技術指導以外の共同研究や受託研究の件数が伸びていること等報告があった。

報告を受けて、渡邊委員より中期計画に沿って今年度も件数や金額が伸びていると考えてよいかとの質問があった。小越委員より、現状増加傾向で推移していたが、今後新型コロナウイルス感染症の影響で伸びが鈍る可能性があるとの回答があった。

4. その他

本学での新型コロナウイルス感染症対策や学生の状況についてそれぞれ質問があった。

武田委員より学生がどの程度本学周辺で生活しているかの質問があり、事務局より入構が制限され見えにくい部分もあるが7割程度の学生が茅野市で暮らしていることの回答があった。

小林委員の学生への支援の状況の質問については、学生への支援としてアルバイト等の収入がなくなった学生を対象とした国の緊急給付金制度が活用されており第1期には100名程度が対象となり20万円または10万円の給付を受けたこと、現在第2期の申請受付を実施していること、このほか本学学生全員に対して2万円の補助をすることの回答があった。

今井委員の2020年度の就職状況の質問については、就職活動は昨年と同じくらいか少し落ちる程度の内定状況ではあるが、活動内容は大きく変わっている状況であることの回答があった。

最後に、2021年度版の大学案内パンフレットが完成したので、4月に発行した広報誌「蓼科の風 No. 4」とあわせて送付するとの案内があった。

以上